

平成27年度予算見積調書

課室名：義務教育指導課

担当名：教育指導担当

内線：6748

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B90	キャリア教育総合推進事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費	
事業期間	平成18年度～平成27年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第48条			戦略項目	06	時代に応え未来を拓く人材育成	
					分野施策	020101	確かな学力と自立する力の育成		
1 事業概要 社会的自立・職業的自立に向け、児童生徒の発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の推進への支援が求められているため、中高の連携を深め、生徒の進路実現の具現化を図る進路指導・キャリア教育研究協議会、望ましい勤労観・職業観の育成を図る「ふれあい講演会」を実施する。 また、生徒・保護者から信頼される一人一人に寄り添い伸ばす中学校の進路指導を推進する。 (1) 進路指導に係る研究協議 60千円 (2) 家庭・学校・地域「ふれあい講演会」の実施 1,810千円 (3) 中学校進路指導の推進 971千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 進路指導に係る研究協議 60千円 中高の連携を深め、生徒の進路実現の具現化を図るため、4教育事務所ごとに進路指導・キャリア教育研究協議会を開催し、推進上の課題について情報交換、研究協議を行う。 イ 家庭・学校・地域「ふれあい講演会」の実施 1,810千円 家庭・地域との連携を深め、地域で働く方や経営者等を講師として招き、生徒の進路意識や職業観・勤労観などの総合的な向上を図る。 ウ 中学校進路指導の推進 971千円 埼玉県進路指導改善検討委員会の報告書を受け、中学校が主体となった生徒・保護者から信頼される進路指導を推進する。 (2) 事業計画 ア 10月に4教育事務所ごとに、市町村立中学校及び県公立高等学校の進路指導主事、入試担当者を対象とした研究協議会を年1回開催する。 イ 各中学校において3年に1回程度、必要に応じて合同での開催や中学校ごとに年間複数回の開催など、市町村の主体性を生かした方法により講演会を実施する。 ウ 中学校校長対象の伝達講習、進路指導担当教員対象研修を実施する。 (3) 事業効果 ア 中高の進路指導・入試担当者の交流により、中高相互の進路指導・キャリア教育の実践について情報交換を行うとともに、共通の課題により研究協議を行うことにより、中高相互の進路指導、キャリア教育の推進を図る。 イ 地域で活躍されている方や専門的分野の方からの講演により、生徒一人一人の勤労観・職業観を養うことができる。 ウ 各中学校が高等学校との連携を密にし、収集・蓄積・共有した進路情報を有効に活用して、進路相談を充実することで、生徒・保護者から信頼される進路指導の推進を図ることができる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア 地域や民間からの講師を招聘することにより、学校と地域、企業を結び付けている。 (5) その他 ア 前年度との変更点 (ア) 県内全中学校長を対象とした伝達講習、進路担当教員の研修等の実施					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との 対比
決定額	2,841							2,841	839
前年額	3,680							3,680	